

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名	児童青少年センター・児童館事業の運営			款	4	項	2	目	1	事業	32	整理番号	285				
担当部課名	保健福祉部児童青少年課			係名	管理係			連絡先電話番号	4402			昨年度整理番号	292				
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部児童青少年課							予算事業区分	既定事業							
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	41	年度										<input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等	(1) 児童福祉法第1～4、7、35、40、45条 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例、同施行規則									
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○センター、児童館事業の充実を図り利用者の健全な育成を助長します。中高生の意見等を反映させたセンター運営を図ります。○児童館運営に必要な人材(非常勤職員)を確保し、充実した事業展開が図れるようにします。センター及び児童館職員の資質を向上させます。						活動指標名(式)	(1) 年間延べ利用者数(センター及び児童館) (2) 開館日数(センター及び児童館)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○事業運営に必要な事務用品、物品などの購入・支出事務 ○事業運営(学童クラブ含む)のための非常勤職員の採用・報酬の支出事務 ○センター及び児童館職員の研修、物品貸出、事故対応(傷害保険等)						成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標								
	成果指標名(1)	一日あたり平均利用者数															
	算定式・指標の説明等	利用者数÷開館日数															
	成果指標名(2)	職員実技研修参加者数															
	算定式・指標の説明等																
区分		単位	21年度		22年度		23年度			24年度	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画									
指標	活動指標(1)	①	人	1,200,763	1,420,000	1,296,877	1,400,000	1,375,024	1,400,000	98.2							
	活動指標(2)	②	日	13,148	13,917	13,114	13,917	13,768	13,917	98.9							
	成果指標(1)	③	人	91	105	99	105	100	105	95.2							
	成果指標(2)	④	人	628	640	727	650	796	800	122.5							
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	276,414	288,410	274,054	290,197	283,679	289,784	23年度予算執行率%	97.8						
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項							
	(内)委託費	⑦	千円	393	398	379	398	398	410								
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	29.10 0.40	27.72 0.40	28.85 0.40	28.85 0.40	27.70 0.60	27.00 0.60	○学童クラブパート雇用人数推移 20年度 139人 21年度 130人 22年度 126人 23年度 124人 24年度 108人(4月当初)							
	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	258,379	247,262	257,342	256,765	246,530	240,300								
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	1,117	1,180	1,180	1,232	1,848	1,848								
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	535,910	536,852	532,576	548,194	532,057	531,932								
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	446	378	411	392	387	380	○学童クラブに係る事務経費は、No.286学童クラブ事業で計上しています。							
	受益者負担分	⑬	千円	0	1	0	1										
	国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0											
	都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0											
	その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0											
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰	千円	0	1	0	1	0	0									
差引:一般財源(⑪-⑰)	⑱	千円	535,910	536,851	532,576	548,193	532,057	531,932									
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 285

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		パートタイマー報酬	124	人	216,749
		臨時職員賃金	926	人	38,115
		運営事務費(消耗品購入、機械器材借上げ等)	50	施設	18,995
		保険料	50	施設	4,952
		その他(消耗品ほか)			4,868
	(2) 事業実績				

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	児童館設置数(各年12月31日現在) 昭和45年=11館、昭和55年=30館、平成2年=40館、平成12年~41館。児童青少年センターは、平成9年に全国に先駆け中高生のための児童館として竣工し、児童健全育成の拠点として事業を展開し、区民からも認知されています。また、平成17年度から実施した学童クラブの登録制により、非常勤職員の配置数が大幅に増加しました。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	児童青少年センターは事業開始時から関係機関・マスメディアからの視察、問合せがあり、各方面から注目されています。 児童館については、障害児の受入等に関する要望・意見が寄せられており、障害児の利用しやすい環境整備が求められています。
	今後の予測	学童クラブの登録児童数の増加や支援の必要な児童の増加が予測されます。
	評価と課題	学童クラブの登録児童数及び特別支援児童の入会状況に応じて、適切に人員を配置するとともに、職員研修等を通じて職員の資質の向上を図り、児童館運営・学童クラブ事業の質を継続的・安定的に維持しています。 今後も学童クラブ登録児童数の増加が見込まれることから、放課後児童対策の拡充に努める一方、学童クラブ運営の一層の効率化を図るとともに、学童クラブ事業に必要な非常勤職員の配置について、優秀な人材の確保、その育成体制の強化が求められます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更	<input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更		
		肥大化する非常勤職員の採用を抑制し、優秀な人材を確保していくため、より効果的・効率的な児童館運営・学童クラブ事業のあり方や職員の配置方法を抜本的に見直していきます。				

特記事項	
------	--

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		児童クラブ事業		款	4	項	2	目	1	事業	33	整理番号	286
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		係名	管理係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	293	
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部児童青少年課					予算事業区分	既定事業					
事業開始		昭和	▼	39	年度		<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業						
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 児童福祉法第6条の2 (2) 杉並区立児童青少年センター及び児童館条例						
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○子どもたちがともに育つ中で、自らの可能性を發揮し、健やかに成長するよう支援します。 ○学童クラブを利用している保護者が安心して楽しく子育てができるよう支援します。		活動指標名(式)		(1) 入会児童数 (2) 入会障害児童数						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○共働き等により保護者が留守となる家庭の児童に対して、一人ひとりが尊重され、安心して安全に過ごせる居場所を学童クラブで提供する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
					成果指標名(1)		入会希望児童の入会率						
				算定式・指標の説明等		入会児童数÷入会児童申請数×100							
				成果指標名(2)									
				算定式・指標の説明等									
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)	① 人	3,040	3,220	3,103	3,275	3,178	3,414	97.0				
	活動指標(2)	② 人	135	106	125	130	119	140	91.5				
	成果指標(1)	③ %	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0				
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	131,061	171,518	161,900	189,704	179,457	253,263	23年度予算執行率%		94.6		
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内)委託費	⑦ 千円	101,967	138,483	132,078	155,508	147,805	219,628					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	81.10 10.00	76.96 10.00	80.46 10.00	76.96 10.00	78.08 10.00	74.06 10.00					
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨ 千円	720,087	686,483	717,703	684,944	694,912	659,134				
		(内)非常勤職員分	⑩ 千円	27,930	29,500	29,500	30,800	30,800	30,800				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	879,078	887,501	909,103	905,448	905,169	943,197					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫ 円	289,170	275,621	292,976	276,473	284,823	276,273					
	財源	受益者負担分	⑬ 千円	87,786	97,995	99,005	99,953	94,422	99,354				
		国からの補助金等	⑭ 千円	0	0	0	0	0	0				
		都からの補助金等	⑮ 千円	5,816	5,816	6,699	6,725	7,094	7,056				
		その他の補助金等	⑯ 千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰ 千円	93,602	103,811	105,704	106,678	101,516	106,410					
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱ 千円	785,476	783,690	803,399	798,770	803,653	836,787					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲ %	10.0	11.0	10.9	11.0	10.4	10.5						

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 286

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		学童クラブ委託	7	所	143,953
	民間学童クラブ運営助成	2	所	15,814	
	おやつ代助成	778	人	14,940	
	その他(事務費等)			4,750	
	(2) 事業実績	学童クラブへの入会希望者は年々増加傾向にあり、平成23年度当初には52名の待機児童が発生しました。このため、和泉北学童クラブの大宮小学校内への移転や久我山学童クラブの改修整備に合わせて各々定員増を図るなどの対応を図りました。また、学童クラブ運営業務の新規委託や民間学童クラブの運営支援にも取り組みました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事業内容
		学童クラブの対象となる児童の人口は、近年横ばい傾向で推移しているにもかかわらず、学童クラブ入会希望者数及び入会者数は増加傾向にあります。このため、第二学童クラブの設置、施設改修による定員増及び学童クラブ登録制を実施しました。入会希望者の多い一部の学童クラブは、施設の規模ぎりぎりの受入状態が続いており、既存の施設を利用した学童クラブの実施が困難になっています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	学校から離れた場所にある学童クラブについては学校内へ移転してほしいとの声や、利用時間の延長など、より安全・安心を求める声が多くなっています。
	今後の予測	近年の保育需要の急増を受けて、就学前の教育・保育から学齢期の放課後対策までの切れ目のないサービスの提供が求められています。共働き家庭の増加等を背景に、学童クラブの需要は今後も増加していくものと予測されます。
	評価と課題	平成24年度当初の学童クラブ待機児童数は44名で、前年度当初と比較して若干減少したとはいえ、引き続き、増加傾向にある学童保育需要への対応を図っていく必要があります。このため、平成24年度には、緊急対応が必要な学童クラブについて児童館機能を活用した「待機児童ランドセル来館」を試行的に実施するとともに、阿佐谷南学童クラブの杉並第七小学校への移転に伴う定員増や高井戸第二小学校校舎改築に伴う学童クラブの整備を計画的に進めていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	II 事業の改善
			<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
	当面の対策として、需要増が顕著な地域においては、暫定的に小学校の余裕教室等に第二学童クラブの整備を図る一方、今後の増大する学童クラブ需要に的確に対応するため、中・長期的な整備計画等を検討していきます。また、真に必要な方にサービスを提供できるよう学童クラブ入会要件等制度全般の見直しを行っていきます。		

特記事項	
------	--



# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 287

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		児童青少年センター事業	491	回	4,095
		児童館中・高校生事業	416	回	1,266
		児童館事業	9,472	回	20,779
		その他 ( )			0

(2) 事業実績

○全児童館、料理・工作・スポーツ・野外活動・宿泊行事・高齢者との交流・伝統行事・障害児交流事業など多彩な活動を展開し、交流と豊かな活動の機会を提供しています。  
○地域児童館7館に中高生委員会を設置し、委員会活動や、自主企画事業実施を援助しています。

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	児童館設置数(各年12月31日現在):昭和45年=11館、昭和55年=30館、平成2年=40館、平成12年~41館 18歳未満児童数(1月1日現在):平成12年=62,023人、平成23年=61,858人 ゆう杉並は平成9年9月開設以来、小学生や幼児親子等を含めた年間利用者総数は5.6~6.7万人前後で推移しています。開設当初は職員企画の事業展開でしたが、平成17年度から「自主企画実現システム」により中高生自らの企画の事業を増やし、ニーズに沿った事業展開を行ってきています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	○子どもの安全を脅かす事件や震災により、保護者の不安感が高まり、安全・安心に過ごせる児童館への評価は高くなっています。 ○ゆう杉並では、自主企画事業の更なる充実や中・高校生の身近な相談場所としての事業展開が求められています。
	今後の予測	○社会状況や雇用環境が大きく変化していく中、ニートや引きこもり、児童虐待の増加、子どもの安全を脅かす事件の多発、家庭や地域の養育力の低下が指摘されるなど、子どもを取り巻く厳しい環境の中で、他機関と連携したよりの確な個別対応や家庭支援が求められています。 ○ゆう杉並を利用する中高生の利用目的が何であるか、ニーズはどこにあるのかを探りニーズに的確な事業実施を行っていく必要があります。
評価と課題	○子どもの自主性・社会性等を育み、心身ともに健やかな成長を支援しています。また活動の拠点として区民等の参画を進め、子どもと子育てを支える地域づくりを醸成しました。今後は、一人ひとりの児童とその家庭に応じた支援をしていくために、関係機関等と緊密に連携・協力していくことが課題となっています。 ○ゆう杉並では、今後いかに外の世界とつながっていくシステムを構築するかを「自主企画実現システム」事業実施により蓄積した様々なノウハウを活用して、若者や地域との協働をいかに活かせるかが今後の課題となっています。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更		<input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更	
		○杉並区の全ての子どもへの切れ目のない成長支援を実現していくため、よりの確で個別的な支援が可能となるように、他の関係機関等との連携を強化するとともに、児童健全育成事業の実施方法や実施場所について再構築していきます。 ○ゆう杉並の事業については自主企画実現システムをさらに充実させる方向で実施して行きます。また、費用対効果の低い事業については、廃止も含め検討を重ねていきます。 ゆう杉並でおこなう職員企画のグループ活動事業については、ニーズに合わせた細分化を図った結果、社会貢献活動、費用対効果といった側面から一定の成果がありました。今後さらに、「ゆう杉」の特徴である中高生運営委員会の更なる発展と事業の改善を図ります。				

特記事項	
------	--



# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 288

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		ゆうキッズ事業	41	館	8,405
		地域子育てネットワーク事業	41	館	2,243
		児童館ボランティア運営	1,096	件	36
		母親クラブ活動費助成	14	団体	650
		その他 ( )			0
	(2) 事業実績	○虐待防止子育て相談事業「コーチング講座」7館「タッチケア講座」10館子ども家庭支援センターと連携し実施しました。○全児童館で生後間もない乳児親子向けプログラムを実施し、悩みや不安の解消、子育て力向上を支援しました。○区民NPOと協働して区民企画を「ミニチュアホースセラピー」等13事業実施し、母親クラブと共催で子育て支援講座「ナチュラル防災講座」「大きな大きな新聞紙」実施しました。子育て支援サークル「ばお」に委託し3周年をむかえた高井戸児童館ゆうキッズ事業の報告会を実施しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	0歳～5歳人口 H13 約19,400人 H18約19,800人 平成23年約21,500人 ○平成11年子育てネットワーク事業開始○平成13年10月ゆうキッズ事業開始○平成18年4月子ども家庭支援センター開設○平成21年4月児童福祉法改正○平成21年4月～平成22年1月ゆうキッズ再構築検討○平成23年ゆうキッズ事業再構築と児童虐待未然防止の推進に向けた部内調整○平成23年9月ゆうキッズスタート(生後間もない乳児向けプログラム)全館実施
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	○核家族化、地域の間関係の希薄化の進行に伴い、子育てに不安や負担を抱える保護者が増えており、ゆうキッズ事業へ子育て情報の提供や相談機能の強化を求める声や、乳幼児室への冷房や授乳設備・スペースを充実させてほしいとの声が多く寄せられています。 ○地域子育てネットワーク事業は地域によりばらつきがあり、事業内容がわかりにくいとの声が寄せられています。
	今後の予測	○乳幼児(0～5歳)の人口は22,000人前後で推移するものと予測されます。少子化や核家族化が進む中において、誰もが安心して子どもを産み育てることが出来るように、身近なところで利用できる子育て支援サービスのより一層の充実が求められています。 ○平成24年要保護児童等対策の枠組み変更に伴い、関係機関と連携した機能的な見守りと対応の仕組み作り等、児童虐待未然防止の推進を図る必要があります。
評価と課題	児童虐待の予防的観点から、全児童館で生後間もない乳児親子向けプログラムを実施し、子育て中の母親の仲間作り推進を図りました。震災は地域の安全を考える契機となり、地域子育てネットワーク事業では、地域の安全や絆を強化する活動が展開しています。児童虐待未然防止のため、関係機関等とのこれまで以上の連携・協力のもと、地域ぐるみの子育て支援を発信・調整・実施していくことが必要となっています。	

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	● 拡 充	○ 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更		○ 実施方法の変更	
	<p>児童福祉法の改正に基づき、ゆうキッズ事業の再構築について検討を行い、「杉並区ゆうキッズ事業実施要領」を改正し、全児童館で生後間もない乳児親子向けプログラムの実施、ロビーワークの充実、昼利用の拡大、午後のプログラムの展開等、「ゆうキッズ事業」の改善を図りました。</p> <p>育児不安は、核家族化や地域の間関係の希薄化を背景に、親の育児に関する知識・技術の不足や孤立感が一要因になっているといわれています。</p> <p>そのため、区内全体で切れ目のない子育てサービスを提供する拠点事業のひとつとして、関係各課等との役割分担と緊密な事業連携のもと、生後間もない時期からの地域のつながりづくりや育児力向上の視点を取り入れた、ゆうキッズ事業、子育てネットワーク事業を展開していきます。</p> <p>また、児童虐待の未然防止の観点から、ゆうキッズ事業のサービス内容や施設設備の充実を図るとともに、保健センター、子ども家庭支援センターとの役割分担、密接な連携を図り、かつ地域教育推進協議会の枠組み・ネットワークの中での事業との整合性を持って、関係機関や地域の子育て支援団体等との役割分担を明確にし、連携を強化していきます。</p>					

特記事項	
------	--



# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		子ども国内交流事業		款	4	項	2	目	1	事業	36	整理番号	289		
担当部課名		保健福祉部児童青少年課		係名	事業係			連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	296			
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部児童青少年課					予算事業区分	既定事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	2	年度									<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		(1) 杉並区都市交流事業						
	区内在住の小学生(4~6年生)、中学生						(2)								
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						活動指標名(式)								
○子ども同士の交流を通して、友好都市の文化、生活、風土等の理解を深めることにより、児童の健全育成を図ります。						(1) 参加者数									
(2)															
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)						成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標									
○区内在住の小学4年生~6年生						成果指標名(1)		応募者数							
1 名寄市との交流会(7月名寄市編3泊4日、8月杉並編3泊4日を実施、25名)						算定式・指標の説明等									
2 東吾妻町との交流会(8月に東吾妻で2泊3日実施、25名)						成果指標名(2)									
						算定式・指標の説明等									
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %				
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績				
指標	活動指標(1)	①	人	72	60	55	55	55	50	100.0					
	活動指標(2)	②													
	成果指標(1)	③	人	120	100	170	120	124	340	103.3					
	成果指標(2)	④													
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	4,705	3,603	3,268	3,590	3,233	4,300	23年度予算執行率% 90.1					
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項					
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.64	0.00	0.62	0.00	0.62	0.00			0.56	0.00	0.62	0.00
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	5,683	5,530	5,530	5,518	4,984			5,518			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	10,388	9,133	8,798	9,108	8,217	9,818						
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	144,278	152,217	159,964	165,600	149,400	196,360						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0			
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0			
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	10,388	9,133	8,798	9,108	8,217	9,818						
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 289

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		杉並区・名寄市子ども交流会	1	回	2,957
	杉並区・東吾妻町子ども交流会	1	回	276	
			回		
	その他 ( )			0	
	(2) 事業実績	1 名寄市と夏季小学生交流(7月8月にそれぞれの自治体で3泊4日。杉並参加者25名 合計50名) 2 東吾妻町と夏季小学生交流(8月に杉並で2泊3日。杉並参加者30名、合計60名)			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	名寄市交流事業は、今年度から隔年で中学生も対象に実施する予定にしており、今年度は小学生対象の年となります。 23年度、東吾妻との交流事業は杉並が迎え入れの年のため、募集人員に足りなかった状況があり、名寄落選者から回ってもらった経緯があります。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	両交流会とも参加者の反応は良好で「また来年も参加したい」「個人的に家族旅行で行ってみたい」「遠い所に友達ができた」など、前向きな事業評価と事業継続の期待が寄せられています。 一方で落選者からは「毎年応募しているのに当たらない」「参加人数を増やしてほしい」等の声が上がっています。
	今後の予測	名寄市との交流については、今後も応募者数が定員を上回ると予測しており、中学生からの希望も多いことから、今後は小学生対象と中学生対象を隔年で実施する予定です。東吾妻町との交流については、行く年の応募は上回っていますが、迎える年は定員前後の応募者数で推移してきました。 今後、「次世代育成基金」の活用により、自己負担が軽減されることで、更に応募が増えることが予想されます。
	評価と課題	両交流事業とも子ども同士が生活を共にすることで、お互いの文化や生活を知ると言う意味で、自治体交流の一端を担ってきています。名寄市との交流事業、東吾妻町交流事業(東吾妻編)においては、応募者数も多く、評価できますが、反面要望に応えきれないという課題もあります。 今後は、交流事業の実施後に検証を行い、プログラムの見直し等を図っていく必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更
	名寄市交流事業及び東吾妻町交流事業ともに、参加者の反応は良好な事業評価と事業継続の期待が寄せられています。杉並区で受け入れをする際のプログラムについて、毎年同じ内容で行うのではなく、年次ごとに企画内容を見直し更に魅力あるプログラムとしていく必要があります。		

特記事項	
------	--

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		民間認可外保育施設利用者負担軽減 款 4 項 2 目 1 事業 37						整理番号	290			
担当部課名		保健福祉部保育課			係名	管理係		連絡先電話番号	1373	昨年度整理番号	297	
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部保育課						予算事業区分	既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	21	年度							<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠 (1) 杉並区認証保育所等保育料補助事業実施要綱					等 (2)
	認可外保育施設に入所している保護者											
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)						活動指標名(式)					
○待機児対策として、認可外保育施設に入所している保護者の負担軽減を図ります。						(1) 補助金交付決定者数					(2) 延べ受給者数	
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)						成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
○東京都などが定める認可外保育施設指導監督基準を満たしている施設に入所しており、認可保育園への入所申込を行い、待機期間中である保護者からの申請に基づき保育料の一部助成を行う。						成果指標名(1) 補助金交付決定者数(代)					算定式・指標の説明等	
○補助金額 世帯収入700万円未満の場合は、月額20,000円 世帯収入700万円以上は、月額17,500円。						成果指標名(2) 延べ受給者数(代)						
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度	計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績		計画	実績		計画(目標値)	実績			
指標	活動指標(1)	①	人	172	100	177	100	227	100	227.0		
	活動指標(2)	②	人	1,213	1,200	926	1,200	1,184	1,176	98.7		
	成果指標(1)	③	人	172	100	177	100	227	100	227.0		
	成果指標(2)	④	人	1,213	1,200	926	1,200	1,184	1,176	98.7		
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	10,540	22,540	17,458	26,560	22,239	22,060	23年度予算執行率% 83.7		
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内)委託費	⑦	千円	0	40	40	40	22	40			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.44   0.00	0.54   0.00	0.42   0.00	0.52   0.00	0.42   0.00	0.42   0.00			
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	3,907	4,817	3,746	4,628	3,738		3,738	
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0		0	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	14,447	27,357	21,204	31,188	25,977	25,798			
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	83,994	273,570	119,797	311,880	114,436	257,980			
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0		0	
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0		0	
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0			
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	14,447	27,357	21,204	31,188	25,977	25,798			
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 290

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		民間認可外保育施設利用者負担軽減	1,184	人	22,239
		その他 ( )			0
	(2) 事業実績	区内の該当施設に対し制度の周知を行い、補助対象となる新規入所者へ申請を促しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成22年度に補助金額の増額を図るとともに、対象者の要件を精査しています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	補助対象施設の拡大や要件の緩和について要望があります。
	今後の予測	認可外保育施設の新設、及び補助対象施設の増加が見込まれるため、補助対象者(保護者)についても増加していくものと考えられます。
	評価と課題	認可保育園の待機児解消対策の一環として、待機中に認可外保育施設に通所する場合の保育料負担を軽減するため、本事業を開始しました。平成22年度に補助対象者の要件について制度変更を行い、事業趣旨の徹底を図っています。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充	<input checked="" type="radio"/> 現状維持	<input type="radio"/> 縮 小	<input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更	<input type="radio"/> 実施方法の変更		
		認可保育園に入りたくても入れず、待機児童となっている方が認可外保育施設(ベビーホテル)に入所される場合、保護者の保育料負担軽減を図るために事業を開始しました。各保育施設における保育料の保護者負担は、多様な保育施設の増加に伴い、より負担の公平性を確保することが課題になっています。このため、今後の認可外保育施設(ベビーホテル)の保護者に対する補助事業のあり方については、保育料等の利用者負担のあり方を含めて総合的に検討を行っていきます。				

特記事項	
------	--

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		杉並区保育室の運営		款	4	項	2	目	1	事業	38	整理番号	291	
担当部課名		保健福祉部保育課		係名	保育施設計画		連絡先電話番号	1388		昨年度整理番号	298			
(平成23年度担当部課名)				保健福祉部保育課				予算事業区分	既定事業					
事業開始		平成	▼	22	年度									<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業
事務事業の概要	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理	根拠 (1) 杉並区保育室事業実施要綱						
	○保護者が昼間に常態的に労働しているなどで保育に欠けている児童 ○保育施設を運営する民間事業者						法令等 (2)							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○待機児解消のための緊急対策として、杉並区保育室の整備・運営を行います。				活動指標名(式)							
								(1) 区保育室数						
								(2)						
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○区施設の空きスペースや民間の空き店舗等を活用し、保育室の整備を行う。 ○区が運営する直営型保育室と民間事業者に運営を委託する委託型保育室により保育室を実施する。						成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
								成果指標名(1) 定員増を図れた人数(区保育室定員数)						
								算定式・指標の説明等						
								成果指標名(2)						
								算定式・指標の説明等						
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %			
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績			
指標	活動指標(1)	① 所			13	13			17	17	17	100.0		
	活動指標(2)	②												
	成果指標(1)	③ 人			349	351			529	529	526	100.0		
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	0	436,994	366,850	449,230	327,157	591,032	23年度予算執行率% 72.8					
	(内)投資的経費等	⑥ 千円	0	0	0				特記事項					
	(内)委託費	⑦ 千円	0	83,505	76,270	87,339	76,226	298,611						
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	0.00 0.00	0.30 0.00	1.78 63.20	2.58 85.50	2.55 75.40	2.55 75.60						
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨ 千円	0	2,676	15,878	22,962	22,695	22,695					
		(内)非常勤職員分	⑩ 千円	0	0	186,440	263,340	232,232	232,848					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	0	439,670	569,168	735,532	582,084	846,575						
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫ 円		33,820,769	43,782,154	43,266,588	34,240,235	49,798,529						
	財源	受益者負担分	⑬ 千円	0	0	0								
		国からの補助金等	⑭ 千円	0	0	0								
		都からの補助金等	⑮ 千円	0	0	0								
		その他の補助金等	⑯ 千円	0	0	0								
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰ 千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱ 千円	0	439,670	569,168	735,532	582,084	846,575						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳ %		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 291

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		直営型保育室	7	園	79,337
	委託型保育室	10	園	247,820	
		その他 ( )			0
	(2) 事業実績	旧若杉小学校跡地の校舎等を活用し、定員50名(2歳児～5歳児)の「区保育室若杉」を7月に開所しました。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	長期の経済状況の低迷により保育需要が急増したことから、区では待機児童を解消するための緊急対策として、区保育室の整備を進め、23年度までに17所の保育室を開所しました。区保育室の設置基準は認証保育所の基準を準用しており、良好な保育環境を確保しています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	追加的に保育室の整備を進めたことで、保育園待機児解消の緊急対策として一定の成果をあげられたため、利用者からは好評でした。
	今後の予測	今後も保育需要は増加する見込みですが、他の保育施設の整備等により対応していきます。
	評価と課題	これまでに17所(529人)の保育室を整備してきました。今後は、暫定施設として設置された保育室のあり方について、検討する必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
		待機児童解消緊急対策として整備された保育室は、おおよそ5年程度の暫定的な設置を前提としていることから、今後の保育室のあり方を検討する必要があります。検討にあたっては、認可保育園等への移行や区施設の有効活用による再配置など総合的な視点に立って進めていきます。	

特記事項	
------	--

## 平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		私立幼稚園の預かり保育		款	4	項	2	目	1	事業	39	整理番号	292	
担当部課名		保健福祉部保育課		係名	子供園担当		連絡先電話番号	1303		昨年度整理番号	299			
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部保育課		予算事業区分				既定事業						
事業開始		平成	▼	22	年度		<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業							
事務事業の概要	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 杉並区私立幼稚園長時間預かり保育事業を行う区内私立幼稚園		根拠法令等		(1) 杉並区私立幼稚園長時間預かり保育事業費補助金交付要綱 (2)							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○保育を必要としている園児に対して適切な保護を行い、幼稚園教育の振興と保育所等の待機児童の解消を図ることを目的としています。		活動指標名(式)		(1) 杉並区私立幼稚園長時間預かり保育事業実施園数 (2) 杉並区立幼稚園長時間預かり保育事業対象園児延べ人数							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○杉並区私立幼稚園長時間預かり保育事業を行う区内私立幼稚園に対して、算定基準に基づいて算定した額の範囲内で補助金を交付する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
					成果指標名(1)		(代)杉並区私立幼稚園長時間預かり保育事業実施園割合 算定式・指標の説明等 実施園数÷計画私立幼稚園数×100							
				成果指標名(2)		(代)杉並区私立幼稚園長時間預かり保育事業対象園児延人数割合 算定式・指標の説明等 対象園児延人数÷(実施私立幼稚園数×定員数×12箇月)×100								
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %			
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		計画	
指標	活動指標(1)		①	園	0	3	1	4	2	4	50.0			
	活動指標(2)		②	人	0	720	135	720	394	600	54.7			
	成果指標(1)		③	%	0.0	100.0	33.3	100.0	50.0	100.0	50.0			
	成果指標(2)		④	%	0.0	100.0	28.1	100.0	82.0	100.0	82.0			
総事業費・コスト把握	事業費		⑤	千円	0	3,726	3,485	12,515	8,871	14,197	23年度予算執行率% 70.9			
	(内)投資的経費等		⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費		⑦	千円	0	0	0	0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)		⑧	人	0.00 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00	0.30 0.00				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	2,676	2,676	2,670	2,670	2,670				
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩		⑪	千円	0	6,402	6,161	15,185	11,541	16,867				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①		⑫	円		2,134,000	6,161,000	3,796,250	5,770,500	4,216,750				
	財源	受益者負担分		⑬	千円	0	0	0	0	0				0
		国からの補助金等		⑭	千円	0	0	0	0	0				0
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	0	6,402	6,161	15,185	11,541	16,867					
受益者負担比率⑬÷⑪		⑲	%		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 292

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		杉並区私立幼稚園長時間預かり保育事業費補助金	2	園	8,871
		その他 ( )			0
	(2) 事業実績	実施園が1園増え、長時間預かり保育事業を行った私立幼稚園2園に対し保育事業の運営に要する経費の一部を補助しました。 対象園児数は延べ394人でした。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区私立幼稚園長時間預かり保育事業は平成22年度開始の事業ですが、各私立園の経営上の問題や事業の周知・PR不足などにより、実施園は2園に留まっています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	共働きの家庭にとっては利用できる施設の選択肢が増えるため、長時間預かり保育を実施する私立幼稚園が増えることを期待する声があります。
	今後の予測	共働き世帯が増加し待機児童が解消されない中、従来の保育施設の拡充に加え、私立幼稚園での長時間預かり保育に対しては今後需要は高まってくると予測されます。
	評価と課題	幼稚園には給食設備がないなどの施設面での課題や従来運営していなかった時間帯や期間についても人を配置しなければならないなど人員面の課題があるほか、園によっては保育理念と相容れないこと及び待機児童解消対策としての効果が実質的には薄いことなど、実施園の増加を図るうえでは課題があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更
	平成23年度は事業実施2年目となり、目標実施園は4園でしたが実施園は2園のみでした。平成24年度からは1園あたり定員20名という枠を柔軟に定員設定できるようにします。保育施設の待機児童に加え潜在的な保育需要も多く見込まれることから、業態転換への支援なども検討しながら、長時間預かり保育事業を実施する園が増加するよう、区内私立幼稚園への働きかけを行っていきます。		

特記事項	
------	--



# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		子供園維持管理		款	4	項	2	目	1	事業	40	整理番号	293
担当部課名		保健福祉部保育課		係名	子供園担当		連絡先電話番号		1303		昨年度整理番号	300	
(平成23年度担当部課名)		保健福祉部保育課		予算事業区分		既定事業							
事業開始		平成	▼	22	年度								
対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理		区立子供園の園児(3・4・5歳児)及び施設・設備		根拠法令等		(1) 杉並区立子供園条例 (2) 杉並区立子供園条例施行規則					
事務事業の概要	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		○子供園として保護者の就労形態に関わらず幼児を受け入れ、教育及び保育を一体的に行います。 ○幼児の発達段階に応じた教材の整備や施設・設備の安全確保を図り、園児により良い教育環境を提供します。 ○在園児の保護者の方が一時的に保育を必要とする場合、一時保育を行っています。		活動指標名(式)		(1) 区立子供園の園児数 (2) 安全と評価された遊具数						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		○子供園施設の維持管理や教材用品の購入等		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
				成果指標名(1)		区立子供園定員充足率							
				算定式・指標の説明等		園児数÷定員×100							
				成果指標名(2)		遊具安全点検安全評価率							
				算定式・指標の説明等		安全評価遊具数÷全遊具数×100							
区分		単位	21年度		22年度		23年度		24年度		計画(目標値)に対する23年度の達成率 %		
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		
指標	活動指標(1)	①	人	0	176	156	380	333	369	87.6			
	活動指標(2)	②	遊具	0	12	8	18	18	18	100.0			
	成果指標(1)	③	%	0.0	100.0	88.6	100.0	88.0	100.0	88.0			
	成果指標(2)	④	%	0.0	100.0	66.6	100.0	56.0	100.0	56.0			
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	0	58,229	48,333	82,385	58,382	77,792	23年度予算執行率% 70.9			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	27,434	19,508	1,600	1,244	1,600	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	0	29,659	21,406	5,370	4,860	12,595				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.00 0.00	14.70 3.00	14.70 3.00	29.60 10.00	14.40 2.30	14.40 2.50				
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	131,124	131,124	263,440	128,160			128,160	
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	8,850	8,850	30,800	7,084			7,700	
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	198,203	188,307	376,625	193,626	213,652				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円		970,278	1,082,045	986,908	577,724	574,667				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	18,683	16,385	43,957	35,334				
		国からの補助金等	⑭	千円	0	30	37	67	102				
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0							
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0							
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	18,713	16,422	44,024	35,436	0				
差引:一般財源(⑰-⑬)		⑱	千円	0	179,490	171,885	332,601	158,190	213,652				
受益者負担比率⑬÷⑪		%		9.4	8.7	11.7	18.2	0.0					

## 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 293

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		建物保守管理委託	4	園	1,665
		光熱水費	4	園	5,311
		備品費	4	園	1,244
		維持管理経費	4	園	8,621
		その他 ( )	41,541		
	(2) 事業実績	保育用品等の教材整備及び施設・設備の安全確保を図り、より良い教育環境を整備するとともに、保護者から要望のあった成田西子供園の園庭整備及び、下高井戸子供園の南側擁壁の改修を行いました。 また、在園児の保護者の方が、子供園の全員保育時間外に、一時的に保育を必要とされる場合に、通常の保育時間に引き続きお子さんをお預かりする一時保育を実施しています。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成22年度から新たな幼保一体化施設として、下高井戸子供園と堀ノ内子供園が開設され、平成23年度からは高円寺北と堀ノ内が子供園に移行したため、子供園は4園となりました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	各園とも施設の老朽化が進み、在園児の保護者から施設設備の改善や修繕の要望等が多く寄せられています。
	今後の予測	施設の老朽化が進むと不具合が目立つようになり、修繕費の増加が予想されます。
	評価と課題	東日本大震災を受けて、平成23年度の事業は、不要不急の支出を控えながらも、限られた財源の中で教材の購入、施設・設備の整備などを効率的に行いました。今後、平成25年度の全園子供園化に向けて、幼稚園運営事務と保育園運営事務の統合にあたり、それぞれの担当者間で事務引継ぎを円滑に行えるよう検討を進めます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
		平成22年から開設した4園の運営等について検証及び評価を行いながら、改善を行い、運営の充実を図っていきます。平成23年度には区立子供園条例の改正を行い、平成25年度に高井戸西幼稚園及び西荻北幼稚園が子供園へ移行します。	

特記事項	
------	--



# 平成24年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 294

23年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		施設保守管理委託(清掃、警備、各種点検、樹木選定 など)			
		光熱水費			116,627
		施設維持管理(建物維持補修、各種設備修理、用品購入 など)			79,718
		施設整備(園庭緑化、GHP冷暖房設備賃貸借)			52,424
		その他(謝礼金ほか)			0
	(2) 事業実績	区立保育園の維持管理について、この事業で幅広く行っています。施設の小修繕を中心に、各種点検や清掃・警備業務、光熱水費や園に必要な物品の購入など、様々な業務等を取り扱いながら管理をしています。なお、大規模修繕については、年次修繕計画に基づいて営繕課で実施しています。			

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	内 容
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	園舎の老朽化に伴い、補修・改修すべき箇所が増大してきています。また、生活水準の向上やライフスタイルの変化に伴い、施設・設備のレベルアップや防犯対策の面でも改修を求められています。
	今後の予測	園舎の老朽化が一層進行し、大規模な改修が必要となる園が増加するため、今後もさらに計画的な改修が必要です。また、男性保育士の増加に伴い更衣室やトイレの改修も必要となります。
	評価と課題	区立保育園は昭和36年から開設され、老朽化した施設は順次改築等をしてきたが、なお開設から年数が経過している保育園が多く、改修等の要望が多い中、限られた予算で計画的に施設の維持管理を行っています。今後も、引き続き、園児の安全を第一に考えながら、計画性を持った対応をしていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更		○ 実施方法の変更	
	安全安心な日々の保育を実施するためには、施設を良好な状態に維持することが欠かせません。一方で施設改修等には多額の費用を要するため、これまで施設改修等については計画的に進めてきましたが、今後、区税収入の動向を見ながら、より緊急度、重要度を精査した対応が必要となります。経費の節減を図るために、維持管理業務の運営事業者への委託などについて、園児の安全確保を第一に考えながら進めていきます。					

特記事項	
------	--